

平成19年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市楠避難会館
所在地	四日市市楠町南五味塚600番地1
指定管理者	<p>名称 楠町商工会</p> <p>代表者 会長 小方 修一</p> <p>所在地 四日市市楠町南五味塚60番地</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>楠総合支所 振興課</p> <p>TEL：059-398-3111</p> <p>E-mail：kusu-shinko@city.yokkaichi.mie.jp</p>

■ モニタリングの総合コメント

楠避難会館は、平成18年度末に改築したばかりの施設で、市民の地域社会づくりの推進と災害時の避難施設としての利用が設置の目的です。この目的を踏まえて管理運営を行っており、指定管理者制度初年度としては、概ね当初の目的を達成したものと評価します。今後、施設の役割を認識したうえで、利用者を増やすことが検討課題となります。

業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施しています。

自主事業については、利用者から好評を得たものの、他施設（楠防災会館）と競合したからか、参加者が少ないのが課題です。

経費については、概ね収支のバランスが保たれ健全に執行されました。次年度は施設の利用率アップを図るとともに、より充実した事業運営を期待します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

当施設の目的である市民の地域社会づくり推進とともに災害時の避難施設として、誰にも開かれた安心して利用できる施設管理が望まれます。

楠町内の類似施設に楠防災会館がありますので、今後の運営のあり方が問われるところです。事業面において、楠防災会館と競合することなく、いかに差別化を図るかが今後の課題と考えられます。

施設管理面では、法定点検などを確実にしており、利用者から寄せられる意見に対しても、迅速に対応するなど利用者からは一定の評価が得られており、今後も適正な維持管理を求めています。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

市民の文化活動、交流活動等地域社会づくりの推進と災害時の避難施設として利用することを目的とした施設であり、施設の目的に沿った実施方針に基づいて適切に管理運営が行われていました。施設運営や利用者への対応については、アンケートでも満足と示されているように、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づいて運用していました。施設の効用については、指定管理者制度初年度として導入以前の水準を維持することはできましたが、次年度以降は利用者を増やすための事業の推進が必要です。管理経費については、収支バランスを保ち、適正に執行できました。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）

地域住民の社会づくりや施設の大きな役割である防災意識の向上のため、事業計画に則って事業運営に関する業務や自主事業を適切に実施していました。利用者の要望を積極的に取り入れてさらに魅力ある施設として運営するためにも、住民の防災意識の高揚を図るための役割を果たすとともに、さらに利用者を誘導するためのPRが今後の課題です。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、職員の勤務体制や開館時間を遵守し適切に運営するとともに、利用者から寄せられる意見に対しては適切に対応していました。施設の維持管理についても毎月、事業報告書にて提出され問題なく実施していました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

貸館料金や付属設備利用料等の収入や、施設の管理費等の支出について適正に処理し、領収書や経理関係調書も整理されていました。施設の保守点検等に関する報告書類も整理されていました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

利用者の利便性、安全性を意識し、火災等の訓練については消防計画どおり年2回実施していました。個人情報保護については制定した規程に基づいて犯罪防止・秘密保持に努めています。損害賠償責任保険にも加入しています。

社会性（環境等への配慮）

不要個所の照明の消灯や清掃時の節水等の省力化、障害者利用についての対応、廃棄物の分別化について、それぞれ創意工夫をして実施していました。

事業収支

経済性

事業収支について、収入については指定管理者初年度としては、ほぼ当初計画どおりでした。また、支出においても概ね良好でした。次年度以降は利用者数をいかに増やすかが課題です。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された財務状況について決算書を分析した結果、課題や問題はないと判断しました。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成19年度

施設名	四日市市楠避難会館		所管課：振興課
所在地	四日市市楠町南五味塚600番地1		設置年月：平成19年 3月
設置目的	市民の地域社会づくりを推進するとともに、災害時の避難施設として利用するため		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市楠避難会館条例（平成16年四日市市条例第38号）		
施設の概要	設備の概要	敷地面積（㎡）	623.89 ㎡
		延床面積（㎡）	291.84 ㎡
	鉄筋コンクリート造 2階建 1階 ホール、防災資機材倉庫、他 2階 和室、保管庫、他		
事業概要	市民向け会館施設の一般利用 災害時に避難所として使用		

2. 運営状況

	実施計画	実施内容 (事業報告書)
開館日数	360日	360日
開館時間	8:30~21:00	8:30~21:00
事業開催	地域交流事業 地域住民を対象とした防災講習会	地域交流事業 地域住民を対象とした防災講習会

3. 利用実績

		実施計画	実施内容 (事業報告書)
延利用者数	個人利用者数	-	3,888人
	事業参加者数	-	20人
事業参加者実績	防災講習会	-	20人
稼働率	平均	-	9.95% (213コマ/2,160コマ)
	平日	-	11.1% (163コマ/1,470コマ)
	土日祝	-	7.2% (50コマ/690コマ)

4. 事業収支

(単位：円)

		実施計画	実施内容 (事業報告書)
利用料金収入	室		78,600
	付属設備	170,000	25,960
	その他		608
指定管理料		800,000	800,000
収入計		970,000	905,168
人件費		313,000	168,000
管理費	光熱水費	100,000	181,821
	保守管理費	163,000	72,215
	修繕費	0	0
	清掃費	300,000	64,598
	警備費	0	0
事務費	通信費	30,000	27,920
	消耗品費	4,000	22,911
事業費		60,000	323,633
予備費		0	0
支出計		970,000	861,098
収支		0	44,070